

神奈川県高齢者生活協同組合機関紙 No.208
次号は2025年4月予定(年4回発行)です

- 目次
- ① 年始理事長ご挨拶
 - ②③ 特集:介護報酬改定の影響は?
 - ④「いたどデイ」20周年記念行事
 - ⑤ フリマ作品・ぬり絵コンクール募集
 - ⑥ 新入職員紹介/ひとやすみパズル
 - ⑦ みなし脱退公告・出資関連案内
 - ⑧ 理事会たより

2025年 年頭ご挨拶

非戦の誓いを これからも 引き継いでいきましょう

神奈川県高齢者生活協同組合 理事長 星野 宗吾



神奈川県高齢者生協を代表して、利用者、組合員、職員の方々に新年のご挨拶を申し上げます。
今年には日本が第二次世界大戦で敗れて80年となります。兵隊として戦地で戦った人も国内で戦争被害を体験した人も80歳をとうに過ぎておられます。

この80年間、日本は戦争当事国にならずに過ごしてきました。大東亜共栄圏建設という美名にだまされ、アジア諸国を手中におさめてその資源を収奪、海外で約 2,000万人、国内で約 300 万人の命と生活を奪った歴史を恥じて、過ちを繰り返さないことを誓ってきた成果です。

昨年12月10日、ノルウェー・オスロでは、日本原水爆被害者団体協議会(日本被団協)へのノーベル平和賞授与式がありました。広島、長崎での原爆とその被爆の恐ろしさは、二度と人類が同じ目にあわないために、世界の人々に知っていただかなければなりません。

平和を実現するための働きは、生協の大切な基本理念です。神奈川県高齢者生協の職員、利用者、家族は自分の生活で埋没してしまうことなく、忍耐強く「平和をつくりだす者」として協働してまいりましょう。

日本国憲法 前文 より

日本国民は、恒久の平和を念願し、人間相互の関係を支配する崇高な理想を深く自覚するのであって、平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して、われらの安全と生存を保持しようと決意した

個人的な経験では、長兄(戦後49歳で死去)が18歳で南満州鉄道勤務中に徴兵され、中国・石家荘等で転戦、敗戦と共にシベリアに抑留されて3年、集団脱走後ふらふらの栄養失調状態で郷里・宮崎県の山奥の家に帰ってきました。私は初めて見る20歳違いの兄を当初「おじさん」と呼んでいました。家の近くにあった防空壕では長崎の原爆に遭った老夫婦が暮らしていて、私はそこを訪れて、お二人から原爆被爆の実態を聴いていました。あるときは、原爆で家族を失った私と同世代の戦争孤児が「空襲警報・・・」と言ってどこかに走り去っていったこともありました。

特集
第2回

令和6年度介護報酬改定 利用者への影響は？

神奈川県高齢者生協では、介護保険制度創設の2000年に県の認可を受けて以来、県内各地域で訪問介護・通所（デイサービス）など福祉事業に特化して事業を行ってきました。

今年度、**訪問介護の基本報酬単価が「まさか！」の引き下げ**となったことについて、事業者としてどのようなことに苦慮しているのか、利用者の方への影響はどうなるのか、常任理事の二人に話を聴きました。

「大丈夫なの？倒産しないよね？」「止めちゃうよね？」「ガソリン代も大変だね！」

岩田：「介護事業所の倒産件数が過去最高に、訪問介護が最多」という新聞・テレビなどの報道を見て、利用者の方から心配のお声をかけていただいています。物価高の影響もあり、やりくりが大変です。

地域密着の小さい事業所が倒産に追い込まれている、交通の不便な地域からの撤退が進んでいる

志村：大手企業では様々な事業を行い、訪問介護以外にも収入源があります。効率を重視して新設と撤退をし、支援する利用者を選ぶこともしています。利益の少ない総合（介護予防）事業や生活援助サービス（家事）の利用者を断っているところもあります。一方、個人や小規模の事業所は簡単には決断できません。

「あなたたちのおかげで」と喜んでもらっています。それなのに・・・

志村：「あやとり」が開所した頃からの利用者の方の中には、「要支援」の状態を20年近く維持できている方が多くいらっしゃいます。「要介護」状態になるのを予防する支援ができた、ということです。これまでは分け隔て無く支援に伺っていましたが、人手が不足しています。自治体によって報酬単価などは異なりますが、相模原市では総合事業で引き下げとなりました。経営を維持するためには訪問の時間を減らさなくてはならず、利用者の方に淋しい思いをおかけしています。ご自身でできていたことができなくなってしまう心配もあります。

「住み慣れた地域・お家で 最期まで安心して過ごしたい」を支える = 「地域包括ケア」に逆行している

岩田：「要介護」にしないために地域包括ケア・総合事業ができたのに、やっていることが矛盾しています。ご家族の手が回らない、一番大変なところを言っていただけたら私たちがお手伝いできます。「そこだけ入ってもらえたら、なんとか家族も頑張れる」「仕事を続けることができる、ありがとう」と言っているわけなんです。

岩田：「この職場で働けて楽しい、嬉しい」という現場の熱意をわかってほしいです。今回の基本報酬単価引き下げにより、「評価を下げられた」「訪問介護で働く人たちのプライドを傷つけられた」という思いです。

志村：制度が現場の声・働く人の立場できていません。どうしてこのようなことになったのか、納得できずにいます。2025年問題*を目前にして、これですか？と。

*「団塊の世代が75歳以上となる2025年（令和7年）以降は、国民の医療や介護の需要が、さらに増加することが見込まれています。高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域の包括的な支援・サービス提供体制（地域包括ケアシステム）の構築を推進しています」厚生労働省ホームページより



(写真：右) 岩田由美子 常任理事
ケアステーションいたど 所長
(2005年7月開設 伊勢原市板戸)

(写真：左) 志村由香里 常任理事
本部 事業部
さがみはらケアステーションあやとり前所長
(2001年4月開設 相模原市中央区)

日々の生活支援、身体介護の中で、利用者の方の

「ささいなこと」「わずかな変化」に気づくことも私たちの役割のひとつ

志村：高齢の方は医師の前では「元気です」と頑張ってしまうこともありますね。ご自身では痛みや異変を感じにくいこともあります。でも、突然具合が悪くなるわけではないので日々の様子の観察が欠かせません。

岩田：私たち介護職員なら「いつもの、ぶっちゃけ話」の中からも、「いつもと違う」状態の変化に気づくことができます。わずかな顔色の変化、言葉数が少なくなった、お茶でむせ込みやすくなった、など。

志村：家族同士だと「何よ、むせちゃって」と済ませたりします。でも、昨日と違う？頻度は？重要な情報です。

岩田：お買い物のメモをきちんと書けていた方がよくわからなくなっている・・・大変なことですから適切にサポート。

志村：入浴ケアの時にふだんはご家族も見ることのできない部位についても傷や大きさなどを記録し、ご家族に伝えます。責任者からケアマネジャーへ伝え、医療機関と連携してがんなどの病気が判明したこともあります。

岩田&志村：訪問介護の仕事は、一人でお伺いしますが大勢で協力する「大きなチームケア」なんですよ

「ヘルパーが40万人不足する」と言われている、人材確保のためにも報酬を確保したい

志村：本部では、全職員にしっかりと給料を支給したいと努力しています。今いる職員たちがどんなに工夫してよいケアを行っていても、経費削減をして効率化に取り組んだところで、まずは報酬・給料がなければ人は集まりません。ヘルパーも高齢化し、老体にむち打っています。

岩田：国の政策として年金財源のためにも「シニア世代も働く」ことが推奨されていますが、報酬の上がない介護業界には人が集まりません。事業所も困っていますが、すべて利用者の方にしわ寄せがいくことになります。

厚労省の説明では「訪問介護事業は利益が出ている」と？

志村：効率よく訪問できる、サービス付き高齢者住宅などと一緒に統計がとられている結果、全体では利益率が高くなっていますが、人がいなくて人件費に使えていないから利益が出ているという側面もあります。地域の利用者の方のご自宅を一軒一軒訪問する私たちのような事業所では利益率は下がっています。

岩田：訪問介護でしっかりケアをしたら潤沢な利益は出ません。物価高での支出も多いです。

もし利益があれば、お一人おひとりにケアを充実する形で還元したいです。

■報酬引き下げ撤回と再改定を求める声が各地で広がりました。12月政府補正予算案では「介護人材確保・職場環境改善等事業」が公表されましたが、支給対象は処遇改善加算を取得している事業所で、条件としては更なる業務効率化が求められています。介護報酬の引き上げに関しては言及されていません。

■「かがやいて」では、今後も報酬改定に関する動向、皆さんの声を紹介していく予定です。

事業所だより 伊勢原市「ケアステーションいたど通所介護事業所」

20周年 記念行事 2024年10月14日～18日（開所：2004年10月）

“いたどデイ”で、これからも
「自分らしく・穏やかに・楽しく生きる」



“いたどデイ”はおかげさまで20周年を迎えました。13年通ってくださっている方もおられます。現在の利用者の方お一人おひとりに感謝状を贈呈しました(写真のケーキはスタッフが紙で製作)。

感謝の気持ちを込め「お赤飯」「天ぷら」「茶碗蒸し」の祝御膳をご用意し、お食事もお楽しみで頂きました。「“いたどデイ”の昼食はいつも美味しいね」と、お褒めの言葉も頂きました。



5日間日替わりで様々なイベントを行い、外部からお祝いに来てくださった方々も一緒に素敵な時間を過ごすことができました。これからも職員一同、より一層頑張ってお参ります。 所長 平坂静恵さん



フリーマーケット 手作り作品 大募集

6月開催予定 ご準備をお願いします

近年、「組合員の集い」「作品展」「ボランティア」など集まる活動がむずかしくなり、人と人・組合員どうしが顔を合わせる機会も減ってしまっています。

神奈川高齢者生活協同組合では、2021年から「ぬり絵コンクール」を始めました。2023・2024年は、「組合員の手作り品を販売するフリーマーケット」を行いました。編み物など手作りのバッグ、アクセサリ小物、インテリア工芸品などが出品され大好評でした。

今年も「フリーマーケット」を、6月22日第20回通常総代会会場で開催する予定です。ぜひ、今から手作り品の出品ご準備をお願いします(食品や家庭での不要品などは募集しません)。

2月28日締切迫る！ぬり絵コンクール

*詳細は「かがやいて」
2024年10月号掲載済

【ぬり絵コンクール応募用紙】 *紙面・ホームページ掲載、展示の際はペンネームでご紹介します

フリガナ		年齢		(当生協の事業所をご利用の方)
お名前		歳	事業所名	
ご住所	(〒 -)		電話番号	
作品に込めた思いをご記入ください				
〈 制作者ご本人による記入欄 〉				
〈 職員スタッフ・家族による記入欄 〉				



一緒に働く仲間を募集しています ぜひお知り合いをご紹介ください

神奈川高齢者生活協同組合の訪問介護・通所介護(デイサービス)の仕事は、職員一人ひとりの頑張りやチームワークで利用者の方に喜んでいただいています。でも、たくさんのご依頼・ご希望にお応えするための職員が足りません。

ご友人・お知り合いに「介護の仕事をしたい」「興味がある」という方はいらっしゃいませんか？

ぜひ、皆様からのご紹介をお願いいたします。



新入職員紹介

大川 タ子 さん ケアステーション いたど 常勤ヘルパー

2024年10月1日付

今まで特別養護老人ホームで9年、小規模多機能型居宅介護事業所で2年働いておりました。いたど訪問ではその経験を活かし、利用者の方の生活を支えられるよう、一人ひとりに寄り添ったサービス提供をしていけるように努力していきたいと思っております。

今後スキルアップできるよう、いたど訪問で勉強していきたいと思っております。これからよろしくお願いいたします。

宮澤 こず枝 さん

本部 経理・会計 2024年12月21日付

このたび、本部事務職として仲間入りをさせていただくことになりました宮澤です。

12月に長野県の長野市から横浜市に引越してきました。前職でも福祉関係の事務業務に携わっていましたが、環境も変わりましたので不安でいっぱいです。一日も早く仕事にも環境にも慣れてお役に立てるように心がけたいと思います。

土地勘もないので、業務以外のこともいろいろ教えていただけると嬉しいです。

どうぞよろしくお願いいたします。

小笠原 士郎 さん

本部 事業部 2025年1月1日付

このたびご縁があり、神奈川県高齢者生協にお世話になることになりました。

これまで携わってきた分野とは異なり、介護事業は全くの未経験ではございますが、新たな挑戦に大きなやりがいを感じております。

私は主に、本部で事務関係の業務を担当させていただきます。現場の皆さんとコミュニケーションをとりながら皆さんが働きやすい環境をサポートできるよう努めてまいります。何かと至らない点もあるかと思いますが、ご指導いただけると幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。



自宅に来て物品を買い取る

訪問購入に注意!



不用品を買い取ると言って業者が自宅に上がり込み、勝手に貴金属を持ち去るといったトラブルが発生しています。

- 突然訪問してきた購入業者は決して家に入れないようにしましょう
- 購入業者から電話がかかってくる時も安易に訪問を承諾しないようにしましょう

消費者ホットライン188

お気軽にお電話ください。身近な消費生活窓口につながります。



ちよつとひとやすみ
並べ替え パズル

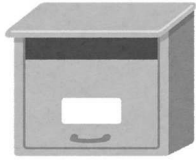
上のマスの中の文字を 並べ変えて
言葉を作ってください

お	ゆ	き	や	な	に	し	な	ぎ	れ

ヒント：柔軟なものは剛直なものよりもよく苦難に耐えることの例え

(答えは最後のページに)

公告 住所不明となっている組合員の方を 定款に基づいて「みなし脱退」として整理させていただきます



生協からの通知・ニュースが届かず住所が不明となっている組合員の方について、
2025年3月31日付で「みなし脱退」とさせていただきます

(2024年11月28日第4回理事会 議決事項)。

該当する組合員は下記の方です。ご本人もしくはご家族から住所変更や脱退など
連絡をいただけましたら、「みなし脱退」を取り消し、ご希望の手続きをいたします。

地区	お名前(敬称を略させていただきます)
川崎南	(WEB上ではお名前は掲載しません)
相模原	
藤沢	
三浦半島	
平塚	
伊勢原	

組合員の皆様へお願い

転居先などをご存じの方は、
神奈川高齢者生活協同組合 本部
電話:045-663-8825までご連絡をお願いします



【脱退のお手続きについて】

生協をおやめになる際は、所定の書類をお送りしますので記入・返送ください
お預かりしていた出資金を口座振込でお返しします

- ①【法定脱退】死亡・神奈川県外への転居
書類受付からおよそ2週間を目安に振込
- ②【自由脱退】利用終了・県内での転居・施設入所など
出資金の返金は、事業年度末日となります
2025年1~3月受付→2025年12月末 振込予定
2025年4~12月受付→2026年3月末 振込予定



秋の生協強化月間(2024年10・11月)
50名加入 / 530口増資 目標のところ
63名加入 / 1,107口増資 をいただきました
いつもご協力ありがとうございます

生協は、皆様からお預かりした
出資金(1口1,000円)で運営しております

理事会たより

2024年度第4回理事会 11月28日 15時30分～17時30分 会場:本部会議室

議決事項 2024年度みなし脱退処理方針

1. 住所が不明となっている組合員について、定款第10条に基づいて「みなし脱退」の手続きを行うことを決めました。「みなし脱退」は年度末に処理させていただきます(本紙7ページ参照)。

主な協議・報告事項

1. 中間監査報告

監事による上半期監査所見にそって報告されました。

2. 上半期経営結果と下半期の指針

(1)組合員の拡大は新規加入者121名、脱退76名、実増45名、9月末組合員数2,880名。出資金は3,007口増加、1,397口の減少で9月末出資45,800口となりました。

(2)利用高は30,469万円(予算比104.3%、前年比107.9%)、事業剰余4,570万円(予算比139.2%、前年比152.5%)、経常剰余1,390万円(予算比596.2%、前年比1,130%)。訪問・通所事業ともに利用高・剰余予算達成、増収増益となりました。

(3)下半期の指針

①各事業所が上半期の総括を行い、下期の課題と計画を明確にして取り組む

②人材確保を推進する ③いただ通所の経営改善

④サービス提供責任者・生活相談員の基本業務実務研修実施⑤生産性向上の取り組み

経営報告 2024年度11月の経営結果

組合員数 11月末組合員数 2,841名

4～11月累計加入数184名、同脱退数153名。累計計画130名に対し31名増。

出資金額 11月末出資金額 4,326万円

4～11月累計増資額411万円、同減資額231万円。累計計画183万円に対し180万円増の実績。引き続き、組合員加入、出資金の増資にご協力をお願いいたします。

利用高 11月実績 5,013万円 予算比104.3% 前年比101.5%

4～11月累計実績40,758万円 予算比104.3% 前年比110.0%

経常剰余 11月実績 179万円 予算差162万円

4～11月累計実績1,849万円 予算差+1,337万円

生協全体で利用高・経常剰余とも予算達成です。前年度実績も上回っています。引き続き下期からの予算達成に向けた取り組みを強めていきます。

事業所一覧 (●訪問介護 ★デイサービス)

- 川崎 ●川崎中部ヘルパーステーション
●川崎北部訪問介護ステーションはなみずき
- 相模原 ●さがみはらケアステーションあやとり
★デイあやとり
- 横須賀 ★大津ケアステーション元気
- 平塚 ●ケアステーションたむら
- 伊勢原 ●ケアステーションいただ
★ケアステーションいただ通所介護事業所
- 藤沢 ●ケアステーション希望
●ケアステーションのぞみ
- 厚木 ●ケアステーション森の里こくど



国際協同組合年

協同組合はよりよい世界を築きます

神奈川県高齢者生活協同組合本部 〒231-0047 横浜市中区羽衣町2-7-10 関内駅前マークビル5階
 電話045-663-8825 FAX045-662-9662 発行責任者 星野宗吾
 Eメール: kanagawa-coop@koureikyuu-k.com 転居などの際はご連絡ください